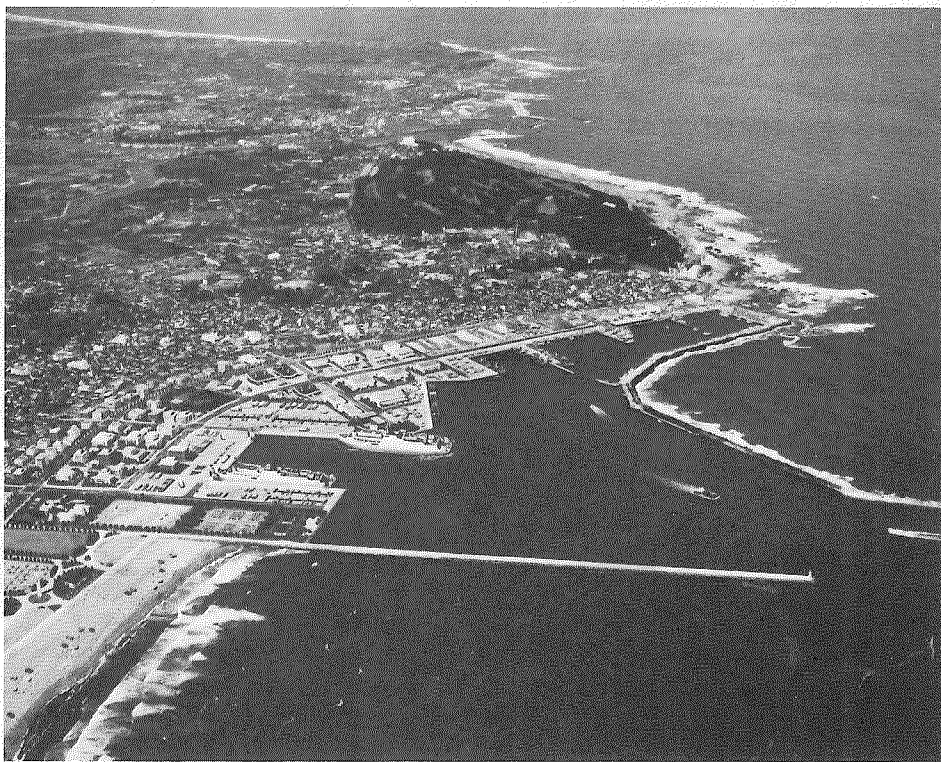


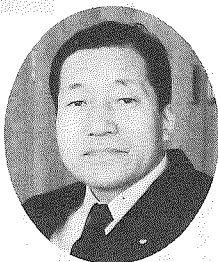
大洗港

昭和60年3月16日(土) フェリー第1便の就航日決定



フェリー就航日の決定について

大洗町長 竹内 宏



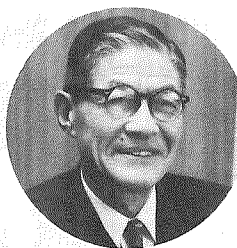
現在急ピッチで建設が進められている大洗港も、いよいよ、来春3月16日には大洗と北海道を結ぶフェリーの第1便が就航することに決まり、これにより別表のとおり供用が開始され、本格的に港湾の機能が稼働することになりました。

本港は昭和36年に着工して以来、約四半世紀にも及ぶ長い歳月にわたって建設の工事が進められてきたもので、フェリー基地を中心に取扱貨物量年間六百五十万噸を目指す、国内の流通機能を基調とする重要港湾げます。

明日をひらく大洗フェリー港

(第一回)

加藤 清



現在、全町民の熱い視線は大洗の港にじつと注がれている。明年三月待望のフェリー航路が開かれるからである。そして、それは多くの期待と亦多少の不安を伴った複雑なものに違いない。大多数の県民も同じであろうと思う。そこで私はもう一度その足跡を振り返り、未来を展望してみたい。

大洗港の建設については小著「波濤を越えて」に書いたが、今度はフェリー開港の経過について述べてみよう。

歴史は古く遡る。先日私は次のような話を聴かされた。大正七年に私達の町である当時の磯浜町で起った米騒動の話である。その時私は小学生で当時のことはほとんど覚えていない位である。これは富山県で起り全国に波及したものであった。米屋を襲撃したものだが、米価の暴騰が原因であったと云われている。

私達の町でも若い漁業者が多数検査された。当時、私の先代は町の議席をもっており、代表者の一人として水戸警察署へ赴き、釈放して貰うため大いに陳弁したというのである。それにしても生活が苦しいために起ったものであり、そういう状態は依然続いていた。私が中学へ入ってからだと思うが、或るひどい雨降りの日、赤ん坊を背負った婦人達を交えて多数の漁業者が私の家へ集まって来た。その頃の生業はシラスが主でその操業期間の延長を県に陳情して貰うため、先代に依頼に来たと云う。

その姿は今でも生々しく印象に残っている。昭和の初期、私達は同志を募り盟友会というグループを結成して、青年運動に入ったのも何とかしてそういう苦しい状態から脱け出したいという願であったが、当時起った経済恐慌の潮に流されて、その理想は中々実現しなかった。そして結論としては、町は土地も狭いし、どうしても海を最大限に活用するほかはない。それには明治時代に本県としては初めて漁業振興を目的に県営工事として着手され、竣工したまま漂砂により廃港となつて眠っている磯浜港を再建するよりほか生きる道はない、ということに意見は一致した。然し、果してその実現は何時の日か、遠き未来への情熱が私達の胸の中に燃え上り、或る時は沈潜し、亦或る時は再燃し長く続いて行つたのである。昭和三十六年、大洗港の起工式実現の過程については、「波濤を越えて」に書いたが、その中で忘れることの出来ないことが一つある。それを述べてみたい。

私達が中央で大洗港再建の運動をしておった時のことであるが、或る日、今は亡き当時参議院議員であつた郡さんと大蔵省の或る主計官を訪れたことがあつた。何と云つても大蔵省は国の財政を握つており、国の補助事業に対する査定はかなり厳しく、その担当主計官の権限は中々大きいものであつた。特に当時はわが国で初めての港湾整備の第一次五ヶ年計画が策定され、その実現に入る初年度になつていたのである。

新規着工希望の港湾は全国で六十四箇所あり、そのうち五港しか採択しないという方針であつたので、それだけ競争は激烈なものがあつた。郡さんと私は丁寧に一礼して、大洗港を新規に是非採択し

てくれるよう陳情した。当時私達は商港としての機能は遠き将来のことであり、もっぱら漁船の入出航のための港が欲しかったのである。主計官は暫く私達の陳情を黙って聴いておつたが、やがて「何故大洗は隣的那珂湊港を使わないのですか」と訪ねられた。私はそこで「つまり、河口港が危険で私達の船は屢々遭難し、何人もの犠牲者が出ております。どうしても外港が必要だと思ひます」と云つてしまつた。現に河口で遭難事故があり、私も遺族を弔問したばかりだからそういう思いが強く私を駆り立てたのかも知れない。すると、とたんに主計官の顔が変り、「そんな欠陥のある港をつくるおのゝ国費の無駄使いである、責任を明かにしなければならぬ」と云つて席を立つてしまつたのである。私はしまったと思つた。何故なら大蔵省から文句が出れば現在進行中の工事に支障を来し、政治的な問題に発展するおそれがあるからである。一つの港湾をつくるにしても近辺から問題が起ると、それは延期され、中止されることもあるというのを前から聴かされていたことを思い出した。然し、云つてしまつたことは仕方がないので、あとで郡さんから主計局長に話をし貰うことにして私達は大蔵省を辞したのである。その後、郡さんから連絡があり諒

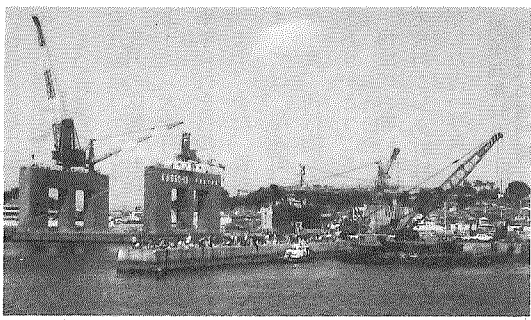
解したということで、私もホッとした。そして帰町してから改めて、今度は主計官宛に長文の陳情書を書いて送つた。

磯浜港埋没の歴史から初まり、如何に町民が大洗港の再建を熱望しているかということを詳細に書き綴つたことを覚えてゐる。それから暫く経つて亦上京し主計官に会つた時、「よく判つた」と云つてくれた。

フェリー就航の決つた今日、郡さんが生きていればどんなに喜んでくれたかと思う。考えてみると起工式が三十六年、漁港計画と工事の実現したのが五十二年、随分時間はかかつた。

岩礁爆破とか、船曳場の解決とか、色々むずかしい問題はあつたが、一つには一切外部資本を受けなかつたこともある。私は将来を考え、出来るだけ地元の人材を確保したかつたからであり、今でもよかつたと思つてゐる。国と県の補助、そして町の負担と文字通り公共事業で一貫した。ただ四十年代には早くも外部の各方面から大洗港への進出希望が続出した。その有望性を買つたのであろう。中には前渡金を幾らでも出したいという巨大な会社も現れた。勿論、私達も今後商港の機能をどう活かすかで研究を続けた。かくして、私達の愛する大洗港は新しい局面に入つて行くのである。

第一便就航日
昭和60年3月16日(土)
航路別就航日
大洗～室蘭
(東日本フェリー㈱)
(用・水・金)
大洗～苫小牧
(日本沿海フェリー㈱)
(水・木・土)
(各大洗港発)
従つて3月16日第1便は大洗発、苫小牧となります。また、北海道からの第1便の入港は翌17日(日)で室蘭港からのものです。



(建設工事の進む大洗港)



友愛と希望で結ぶ 県身体障害者スポーツ大会

第22回茨城県身体障害者スポーツ大会が「友愛と希望で結ぶ集いの輪」を合い言葉に、さる十月十日笠松運動公園陸上競技場で盛大に開催されました。当町からは十名の選手（井上栄三郎団長）が百メートル競走、立巾跳などの競技に出場し、県内各地から参加した身障者と友情を深め楽しい一日を過ごしました。

また、選手団の一員である加藤みどりさん（磯浜町二五七九）は昨年の県大会、ハンドボール投げで好成績をあげ県代表選手として

昭和五十九年度芸術鑑賞の集い（演劇公演）は、去る十月十一日大洗文化センター（大ホール）において開催されました。

この公演は大洗町、大洗町教育委員会主催によるもので、町内の中学生（大洗一中、南中）全員に生の舞台芸術を鑑賞していただくため開かれたもので、当町においては初めての試みでした。

開演に先立ち竹内町長のあいさつがあり続いて大洗一中重実教頭先生より鑑賞マナーの指導を受け開演いたしました。

今回の公演は、劇団「仲間」の皆さん（総数三十名）によるロシア民話「石の花」（二幕八場）で、

中学生芸術鑑賞の集い 生の演劇公演に 大きな感動



第2回 町民チャリティ親善ゴルフ大会 緑の芝に福祉の輪広がる

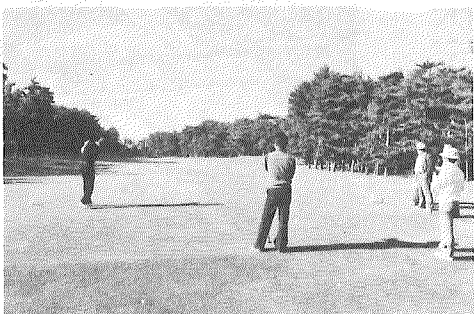
第二回大洗町民チャリティ親善ゴルフ大会がなごやかななかにも盛大に開催されました。

去る10月15日（月）大洗ゴルフ倶楽部で大洗町体育協会ゴルフ部（石井藤吉部長・部員250名）の主催により、福祉事業へのチャリティを目的に、併せて町民の皆さんの親善交流を図ろうと、この親善ゴルフ大会が実施されたものです。

- この日、午前8時打上げ花火の開始合図に合わせて、竹内宏町長によりアウト1番ホールで始球式が行なわれました。始球式のボールは見事に煙を引きながら緑の美しいコースに飛んで行き、早速競技に入りました。
- 当日は朝から晴れ上がり、ゴルフ日和となった中、160名のプレーヤーが地元ゴルフ場でのプレーを十分に楽しんでいました。

また表彰式は午後4時ゴルフ場食堂で行なわれ、主催者のあいさつとあわせて石井部長から竹内町長にチャリティ（金20万円）の贈呈が

善意の寄付
ありがとうございました



大洗町十期会

会長 松岡 卓示殿

一、金三万円也

大洗町磯浜町四六番地

松井 美代子殿

一、金五万円也

水戸市南町三の二の四番地

福祉の心を育む互助会殿

一、金二万円也

大洗町磯浜町一八八番地

海老原 正男殿

町社会福祉協議会において、これらの善意と「まごころ」をいかし、老人福祉、身体障害者福祉、母子家庭の福祉、交通遺児家庭の福祉等地域福祉活動の推進を

消防だより たき火による 火災をなくそう

秋も深まると、落葉を集めてたき火をする風景を見かけるようになります。また年間を通して、ゴミや廃材処理のためのたき火はよく見かけるものです。このように身近なたき火ですが、ちよつとした油断や不注意によって他に延焼し火災となり大きな被害を出すことがあります。

- たき火による火災を防ぐため、次の事項に注意しましょう。
- 1、火災警報が発令されているときにはたき火をしないこと。
 - 2、火災警報時、強風時のたき火は、火の粉の飛び火による火災発生の危険性が非常に高いので行わないようにして下さい。
 - 3、たき火が禁止されている場所では絶対に行わないこと。
 - 4、子供だけのたき火はさせないこと。
 - 5、子供は火に対する好奇心が強い反面、真の火の恐ろしさを知らないで、必ず大人といっしょに行うようにして下さい。
 - 6、たき火は周囲に燃えやすいものがない場所で行うこと。
 - 7、たき火は水バケツや消火器等を準備してから行うこと。
 - 8、焼却後の消火のため、思わぬ

延焼を防止するためにも必ず水バケツや消火器等を準備してから行うして下さい。

ちよつと目を離したすきに、火の粉が飛んだり、他に燃え移ることがあるので、必ずその場にたき火を監視する人を置き、たき火からの火災発生の防止に努めて下さい。

7、消火に際しては完全に火が消えたかどうかを十分に確認すること。

消したと思っていたたき火が再び燃え上がり火災となった例もあるので完全に火が消えたかどうか十分に確認し、しばらく時間をおいてから再び確認するよう慎重さがが必要です。

8、火災とまぎらわしい程の大量のたき火を行う場合には事前に消防署に届け出ること。

ゴミや廃材等を焼却する際に大量の煙や炎が上ると消防機関や付近の人々が火災とまちがえる恐れがあります。さらに消防署では万一の際の初動体制を整えておく必要があるため、大量に焼却する必要がある場合には事前にその旨を消防署に届け出て下さい。

子供は火に対する好奇心が強い反面、真の火の恐ろしさを知らないで、必ず大人といっしょに行うようにして下さい。

訂正

前号（第154号第1面）掲載の昭和59年度大洗町長昇格発表で東横綱「深沢あさ」と記載されておりましたが「深作あさ」の誤りでした。お詫びし訂正いたします。

寄附

一、金参万円也

大洗町磯浜町二三三番地

大洗町医師会

会長 篠原源錦殿

心身障害児者福祉費の一部として町に寄附されました。

一、金壹万貳千参百五拾七円也

大洗町松川青年団

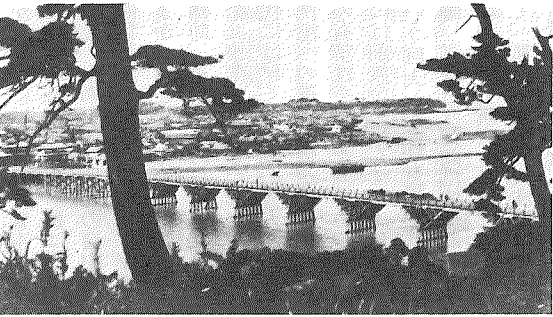
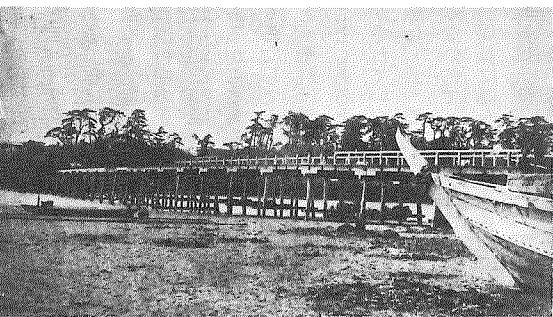
団長 佐藤 巖殿

松川神社祭チャリティカラオケ大会収益金の一部を老人福祉費へと寄附されました。

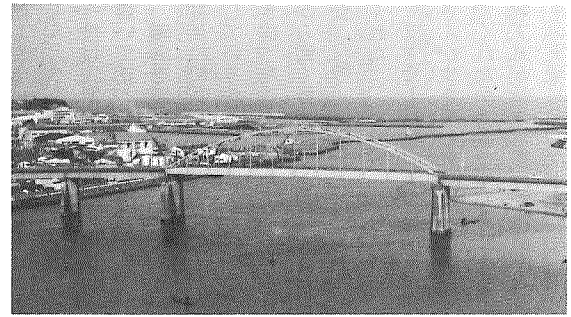
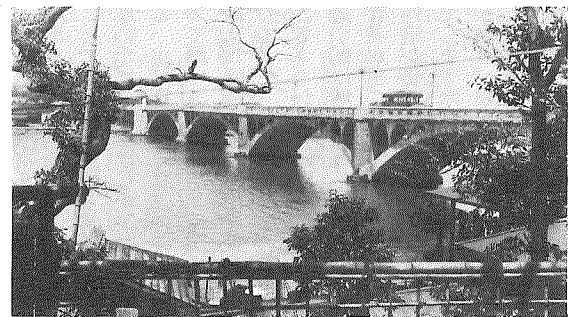
六十年刊行 大洗町史編さん

先月の広報でお知らせしましたように「大洗町史」の編さんは、来年刊行を目指し着々と進んでおります。また、資料の借用につきましては、早速町民の方から貴重な写真、刊行物等をお寄せいただきありがとうございます。

左掲の海門橋の写真は、明治二十八年に第一代海門橋が架橋されたから現在の橋にいたる変遷を写したもので、山形雄三氏、寺内淳氏、武田吉一氏から借用したものです。



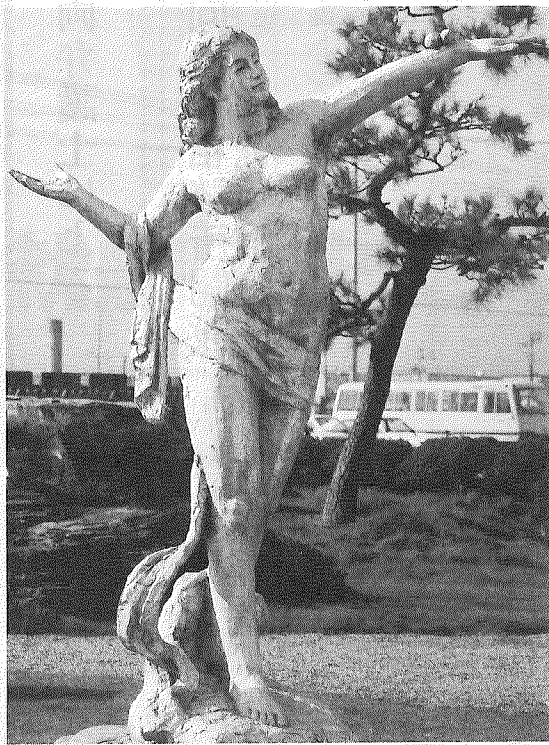
昭和5年11月
第三代の海門橋
(昭和13年6月流失)



昭和34年7月竣工
海門橋（第四代）

海浜文化都市のシンボルに 大洗港と大洗駅に記念像

モニュメント建立委員会発足

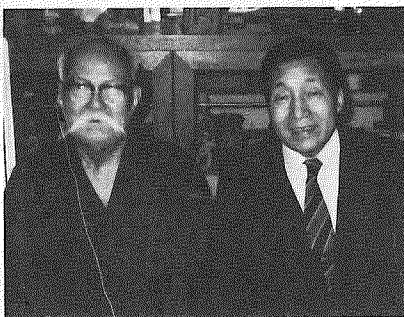


北村西望先生作「平和の女神」

大洗港の開港、鹿島新線の開通、町制施行30周年と私達の町にとって明、昭和60年は記念すべき意義深い年となりますが、町ではこれを契機に「長崎の平和祈念像」の制作で我が国彫刻界の第一人者である北村西望日展名誉会長（百一歳）のブロンズ像2体を、町のシンボルとして大洗港（平和の女神）と鹿島新線大洗駅（今日は）に建立しよう、町内各種団体に呼びかけ竹内宏町長を会長にモニュメント（記念像）建立準備委員会を設け検討を進めてきました。

この結果、去る10月11日に「北村西望先生作（平和の女神、今日は）建立委員会」を設立し、建立についての具体的な審議を行なうための第1回委員会を開催しました。

北村先生は、大洗の自然をこよなく愛され当町神山町には別荘兼アトリエをお持ちですが、百一歳の御高齢にもかかわらず誠にお元気で、東京都武蔵野市にお住になつております。



北村西望先生作「平和の女神」

「今日は」像建立委員会役員
会長 竹内 宏 大洗町長
副会長 関野 清兵衛 教育委員会委員長
理事長 菅原 弥 議会議長

健康相談室

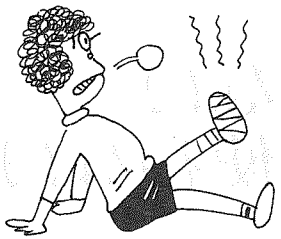
(30)

やけどの手当て

以前には、みそ、じゃがいも、おろし、油などを塗ったり紙や綿を使ったりして、あとの治療に困ったものですが、この頃は、わかつてきたので、少くなりました。やけどの第一の手当では、冷やすことです。手足の時は、水道の水で十分冷やすと、痛みも

少くなりますし、あとの治りも良いようです。ゆっくり冷たい水で冷やしながら、あとの治療を考えましょう。

水から出すとまた痛みますので、きれいな布に水や氷を使つて、やけどの部分の冷しながら医者の方に運びます。



やけどの深さや広さで、治療もいろいろ変わりますが、まず冷やす事を第一に考えて下さい。
〔大洗医師会・提供〕

- 理事 伊藤 栄 議会副議長
小沼 幸一郎 議会総務常任委員長
杉山 栄次郎 商工会長
石井 藤吉郎 観光協会長
小松崎 七之介 漁業協同組合長
杉山 晴茂 農業協同組合長
小松崎 新太郎 水産加工業協同組合長
後藤 進一 芸術文化協議会長
平戸 美津江 婦人会連合会長
森島 淳好 原研大洗研究所長
榎本 英輔 茨城文化界民の会委員
関根 喜衛門 農業委員会
谷田部 吉蔵 消防団長
寺内 淳 青色申告会長
西谷 恒男 常陽銀行大洗支店長
(順不同)

武蔵野音大生を招き演奏会

大洗町音楽協会

この春に多勢の皆様のご賛同を得て大洗町音楽協会（加藤富士子会長）が設立されました。



この協会のメイン事業として、去る十月七日大洗文化センター大ホールにおいて武蔵野音楽大学の管弦楽団（総数一〇七人）による演奏会を開催いたしました。町内外よりたくさんの音楽愛好者が集い演奏される名曲に耳を傾けて聞いていました。

曲名は、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第五番、変ホ長調作品七十三「皇帝」、スメタナの交響詩「わが祖国」よりモルダウ、シュトラウスの交響詩「ティル・オイレンシュペーゲル」の愉快ないたずら「作品二十八、ワグナーの歌劇「ローエングリン」第三幕への前奏曲などがアントニン・ドビュッシー（チェコスロバキア出身）の指揮で披露され、管弦楽のすばら

秋の交通安全運動 歩行者パレード 盛大に行なわれる



長かった夏がやっと終りを告げ朝夕涼さを感じ始めた。去る9月27日、秋の全国交通安全運動の一環として、当町の交通安全歩行者パレードが町民約130名の参加のもとに、盛大に開催されました。

当日集合場所に指定された茨交大洗ホテル第二駐車場は定刻の二時には、各小学校の鼓笛隊、バトニングや各中学校の生徒達、県立大洗高校のマーチングバンド、飾り付けたフラカード、標語などを持った明石・滝口・恵泉の各保育園、第三保育所の園児など、町内の各種団体の皆さんで埋めつくされました。

パレードに先だって、竹内町長・菅原議長・大洗派出所長のあいさつがあり、その後大洗高校マーチングバンドのリーダーである鈴木弘道君の交通安全決議宣言があり早速パレードに移りました。

今回はパレードのコースが変わり、大洗神社大鳥居の前から大洗高校のマーチングバンドを先頭に出発し、パレードの進行につれて町内の道路は、家々から見に出た人達でいっぱいになり、子供達はこれらの人々に交通事故防止を呼びかけながら大貫青年研修所までの2.4kmを力強い足取りで行進し、交通事故の防止や安全意識の高揚に成果をあげていました。

参加者の皆さん、大変ご苦労様でした。

これからよい音楽を取り入れ、教養を高め、また音楽を通して豊かな明るい社会が形成されることを願っています。

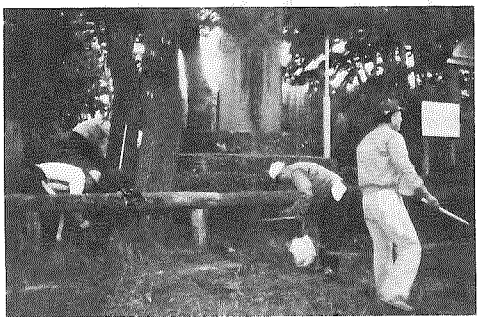
また、音楽協会へのご意見、ご希望などお寄せ下さいますようお願いいたします。

なお、当会へ加入ご希望の方は町教育委員会事務局（電話六六一二四一一）へお申出下さい。

ライオンズ・ライオネスクラブ

山村暮鳥 碑周辺の清掃奉仕

大洗都市公園の松林にある、山村暮鳥・三島中洲の碑の周辺が、きれいに除草、整備されました。去る10月8日（月）、ライオンズクラブ（高木一朗会長45名）、ライオネスクラブ（関野まさい会長20名）の会員の皆さんが早朝5時30分から7時30分の2時間、世界ライオンズ奉仕デーにちなんで環境浄化、町に緑地を目標スローガンに実施されたものです。



両碑を訪れる観光客もきれいに整備清掃された碑に満足されることとしてしよう。

さわやかな秋の日 第1回町民テニス大会

開催される

両会員の皆様ごろうさまでした。大洗の自然は 私たちの手で大切に守りましょう

スポーツの秋。快晴の10月10日の体育の日、本年5月1日大貫前原下オープンされた大洗町営テニスコートで、第一回町民テニス大会が大洗町体育協会（竹内宏会長）主催で開催されました。



当日の競技方法は、男・女ともダブルスで試合が行なわれ、男子の部30組（60名）女子の部10組（20名）が参加し、楽しみのなかにも激しい闘志を燃やしてプレーが行なわれました。当日は休日とあつて家族連れの姿が目立ち、お父さんやお母さんのプレーに大きな声援をおくっていました。

最終スポーツによるところよい汗を流し、プレーヤー達は疲れも忘れ満足していました。

また表彰式は午後三時からコート上で行なわれ、主催者のあいさつの上上位入賞者の表彰が行なわれました。

- 上位入賞者は次の通りです。
- 男子の部
優勝 本堂・大友組
準優勝 米川・芝沼組
3位 斎藤・梅田組
- 女子の部
優勝 人見・小野瀬組
準優勝 前多・黒羽組
3位 鬼沢・額賀組

水戸光圀と大洗

郷土歴史講演会のお知らせ

常陽明治記念館・大洗町教育委員会共催により郷土歴史講演会を次により開催いたします。町民みなさま多数の参加をお待ちいたしております。

記

- 一、日時 十一月十三日(火) 午前十時から正午まで
- 二、会場 大洗文化センター(大会議室)
- 三、講師 名越時正 先生
- (県文化財保護審議委員、常陽明治記念館評議員、水戸史学会会長)
- 四、入場料 無料(定員一五〇名)

茨城県最低賃金が改正されました

●一日 三、二七三元(時間給労働者は)

茨城労働基準局では、この度、茨城県最低賃金を一日三、二七三元(現行三、一七五円引上額九八円)時間給では一時間四一〇円(現行三九七円引上額一三三円)に改正し、一〇月一七日から実施されています。

最低賃金制度は、国が賃金の最低限度を定めこれより低い賃金で労働者を雇ってはならないとする制度で、今回改正された最低賃金額は県内の事業場で働くすべての労働者(常用労働者、臨時雇い、パートタイマーなど雇用の形態、男女、年齢を問わない)に適用されます。最低賃金についての詳しいことは、茨城労働基準局(電話 〇二九二―二四一六二五)又は最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

茂手木 両弁護士による

無料巡回法律相談所開設

法律問題、家庭内トラブルなどでお困りの方は、どなたでもお気軽にご利用下さい。

●とき 11月27日(火)

午前10時～午後3時

●ところ 大洗町役場(三階会議室)

主催 財団法人 法律扶助協会



国民健康保険税
第4期の納期は
11月30日迄です。

税だより

●新築家屋の調査について

町では、昭和59年1月以降建築された新築家屋(増改築を含む)について、一斉に調査を行います。

調査にあたっては税務課職員2名1組で訪問方式により実施いたしますので該当する方はよろしくご協力下さるようお願いいたします。なお勤務等の都合で調査日を希望される方は、お手数でも税務課固定資産税係までお知らせ下さい。

○調査期間 11月1日より12月中旬まで

○連絡先 役場税務課資産税係 電話 67-5111・内線(57・69)

●年末調整説明会について

○日時 昭和59年11月12日(月) 午前10時

○場所 大洗文化センター大会議室

(水戸税務署)

●個人事業税をお忘れなく

11月30日が期限です

昭和59年度個人事業税第2期分の納期限をお忘れなく納付して下さい。

売らない
買わない
使わない



電々公社認定のコードレス電話・自動車電話以外はすべて「違法」です。

使っている人などの情報は下記へ……

関東電波監理局第二監視部

〒100 東京都千代田区大手町1-3-3
大手町合同庁舎第3号館 電話 03(241)1626

大洗における交通事故の発生状況

(59.9月現在)

	本年	前年同期	増減数
発生件数	4 (59)	10 (71)	△6 (△12)
死者数	0 (0)	0 (6)	0 (△6)
負傷者数	5 (72)	11 (92)	△6 (△20)

※()内は累計を示す。

“毎月1日は交通安全の日。” “あなたが築く交通安全。”

大洗文化センター11月分行事予定表

開催日	開始時間	催事名	開催場所	催事内容
11月1(木) 2(金) 3(土) 4(日)	9:00~	大洗町芸術文化祭書道展示会	大会議室	大洗町内の書道愛好者が作品を展示発表する
11月2日(金)	17:00~	詩吟リハーサル	ホールステージ	
11月3日(土)	9:00~	大洗町芸術文化祭 大洗町民謡発表会	ホールハーサル室	大洗町内詩吟及び、民謡愛好者の発表会
11月4日(日)	9:00~	大洗町芸術文化祭 大洗町民謡発表会	ホールハーサル室	大洗町内日本舞踊愛好者が自慢の踊りを発表する
11月6日(火)	9:00~	東茨城郡神社総代会総会	ホール	
11月9日(金)	9:30~	運転免許証更新講習会	大会議室	自動車運転免許所有者で更新のための講習会
11月10(土) 11月11(日)	13:00~ 9:00~	桂木潤五周年記念チャリティ歌謡ショー	ホールステージ準備ホール・リハーサル室	カラオケ及び有名ゲストを多数招いて歌謡ショーを催す
11月12日(月)	10:00~	水戸税務署会議	大会議室	
11月13日(火)	10:00~	郷土歴史講演会	大会議室	
11月16(金) 11月17(土)	15:00~ 9:15~	こども演劇鑑賞の集い	ステージ準備ホール	町が町内小学生対象に演劇鑑賞の集いを催す「乞食と王子」
11月18日(日)	9:00~	サークル・オブ・マザー	大会議室	公演内容「どう活かす物とお金」
11月22(木) 11月23(金)	17:00~ 9:30~	カラオケ決勝大会	ステージ準備ホール	カラオケ大会
11月25日(日)	12:00~	野口音楽教室発表会	ホールハーサル室	野口音楽教室生徒によるピアノ、エレクトーンの発表会
11月30日(金)	9:00~	茨城県中央ブロック校長研修会	ホール・大会議室	研修会

保健センターだより

月/日	事業名	対象名	受付時間
11/5(月)	母性相談	妊婦及び母性	9時00分~11時30分
11/6(火)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	1時00分~3時00分
11/8(木)	百日咳・破傷風予防接種	生後24カ月より48カ月未満の者	2時15分~4時15分
11/10(土)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時00分~11時30分
11/13(火)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時00分~11時30分
11/17(土)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時00分~11時30分
11/20(火)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時00分~11時30分
11/22(木)	三歳児健診	昭和56年10月より11月生ままでの者	1時15分~2時15分
11/27(火)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時00分~11時30分
11/29(木)	百日咳・破傷風・予防接種	二期生後24カ月より48カ月の者 六カ月までの者	1時15分~2時15分
12/1(土)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時00分~11時30分
12/4(火)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	1時15分~2時15分
12/6(木)	乳児健診	生後2カ月より3カ月の者 生後7カ月より8カ月の者	1時15分~2時15分
12/8(土)	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時00分~11時30分

「婦人科ガン」集団追加検診のお知らせ

○検診日及び場所 11月30日(金) 大洗町保健センター

○受付時間 午後12時30分~1時30分まで

○対象 大洗町に住所を有する35歳~69歳までの女性

○申込日時 11月26日(月)まで

○料金 金 無料

○申込場所及び方法 大洗町保健センター(電話でも受付可)

くわしいことは、その都度週報等によってお知らせいたします

が不明な点は保健センターにお問い合わせ下さい。

TEL (66) 1010

乳児神経芽細胞腫実施のお知らせ

この病名は、子供に多い白血病や脳腫瘍と同じ「ガン」の一種で、子供のお腹に出来るものです。この病気の特徴として、第一に初期症状がはっきりしないため、発見が遅れ易いことです。第二に乳幼児期、特に一歳未満の子供に発生し、早期発見をして治療を行えば、永久的に治癒が期待できる病気です。発見の方法として赤ちゃん(6カ月児)のオシッコの検査でわかります。

なお、町の乳児健診(2カ月・3カ月)等において指導の上、検査用紙を配付いたします。

くわしいことは、その都度週報等によってお知らせいたしますが不明な点は保健センターにお問い合わせ下さい。

TEL (66) 1010